



# 「子ども」という時間と 放課後

## 支援者たちと考える子どもの放課後

**参加費:無料**

一時保育あり:無料(定員20名)

※要事前申し込み

定員:各会場100名

**対象:**

学童期の放課後支援、居場所活動に関わる  
スタッフ、指導員、ボランティア、学生など。  
また、放課後支援活動に関心のある方。

学童保育所・留守家庭児童会室・子どもの家・  
地域子ども教室・放課後子どもクラブ・児童  
館・塾・お稽古事・NPO・フリースクールなど。

**主催:**

NPO法人関西こども文化協会  
財団法人 こども未来財団

2011.11.23 [水・祝]

10:00-16:00 **大阪開催**

TKP大阪梅田ビジネスセンター15F

大阪府大阪市福島区福島5-4-21



JR線「大阪駅」・阪急線「梅田駅」・阪神線「梅田駅」・地下鉄四つ橋線「西梅田駅」の地下街を通り、6-2番出口出ですく。

JR線「福島駅」徒歩2分、阪神線「福島駅」徒歩5分。

JR東西線「新福島駅」徒歩5分。

2012.1.22 [日]

10:00-16:00 **和歌山開催**

和歌山大学(教育学部 講義棟2F)

和歌山市栄谷930番地



南海電鉄「和歌山市駅」前から和歌山バス11番乗り場[和歌山大学行]で約20分。JR「和歌山駅」から和歌山バス4番乗り場[和歌山大学行]で約30分。

## 開催主旨

「放課後」—— 本来、解放感や自由な時間といったイメージを持つ言葉。しかし、現代の子ども達の環境は、授業時間の拡大、塾やお稽古ごとなど時間の短縮や細分化によって多忙な放課後を過ごし、また、共働き家庭が増える中、安心・安全に過ごせる居場所も求められるなど、社会状況や高まるニーズを受けて、放課後を過ごすことができる多様な団体・施設は全国に増えています。

「子ども」という時間にとって「放課後」とは、学校と家庭との狭間にある豊かな学びや生活を享受できる空間です。それは、「生きづらい社会」と言われる昨今、子ども個々の力を引き出す重要な役割を果たす場として、これからさらに重要視されていく一方で、市町村や活動内容によってその形態は様々で、団体・施設同士の連携や交流が難しいのが現状です。

本研修会は、子どもたちの「放課後」に関わる支援者同士の交流を通して、運営面や制度面、財政面などのノウハウや課題解決を得るとともに、「子ども」を軸とした豊かな放課後について、気づき・学ぶ機会になると考えます。

## 講師プロフィール

### 北野 真由美

NPO 法人えんばわめんと堺 /ES 代表理事  
大阪多様性教育ネットワーク (ODEN) トレーナー

1957年生まれ。主な活動として子どもの人権にかかわり、教育委員会の委託事業で、子どもへの暴力防止にかかわっている。また、人権ワークショップ・多様性教育・SAY(性・生)の会・障がいのある子どもとそのきょうだいへのプログラムを展開。大阪府内を中心に、幼・小・中・高等学校の生徒や教員研修や教育委員会・教育センターなど教育機関や行政・女性センター・公民館・地域・企業の人権研修などで活動中。

### 松浦 善満

和歌山大学 教授  
NPO 法人関西こども文化協会 代表理事

1948年生まれ。大阪教育大学大学院修士課程終了。2005年4月和歌山大学付属小学校校長に就任。いじめ国際調査、不登校、教師のメンタルヘルス、「学級崩壊」調査に取り組む。NHK教育トッデイ、関西テレビ教育レポーター、国立教育研究所客員研究員。専門は教育社会学部・教育調査論。

### 宮川 浩

学童保育指導員専門性研究会 事務局  
子どもの発達と遊び研究会、学童保育を守る会 役員

1965年生まれ。大阪市住之江区で28年間学童保育所の指導員を務める。

2010年2月に結成した「学童保育を守る会」の中心メンバーとして、住之江区の学童保育所や指導員を財政的にも人的にも支援し、地域の中の子育て支援拠点づくりの取り組みを目指す。また、学童指導員を中心に様々な研究会の中で、子どもの生活と遊びについての研究を進め、指導員向けの研修や地域の保育所や幼稚園などで遊びについての講師やアドバイザーも務める。

### 代田 盛一郎

大阪健康福祉短期大学 子ども福祉学科 講師

1972年生まれ。元学童保育所指導員。学童保育の実践研究を中心に子どもの遊びと生活に関する研究、研修会等の講師活動を行う。主な著書『子どもは遊べなくなったのか「気になる子ども」とヴィゴツキー = スピノザ遊び理論』(三学出版、2011年、分担執筆)

## プログラム

※ 和歌山会場周辺には、昼食を購入できる場所がありませんので、予めご準備の上ご参加ください。

10:00-12:00 午前の部 ワークショップ  
**子どもという時間の“放課後”とは**  
【ファシリテーター】 北野真由美・有田雅恵・中川早苗・長岡幸子・藤田秋香 (NPO法人えんばわめんと堺 /ES)

13:00-15:00 午後の部 ワークショップ  
**3つの間から考える“放課後”とは**  
【ファシリテーター】 北野真由美・有田雅恵・中川早苗・長岡幸子・堀口博子 (NPO法人えんばわめんと堺 /ES)

15:15-16:00 振り返り会  
**明日から活かせる“放課後”支援**  
【アドバイザー】 松浦善満氏 / 北野真由美氏 宮川浩氏(大阪開催のみ) 代田盛一郎氏(和歌山開催のみ)

## お問い合わせ / お申し込み

参加のお申し込みは、電話・FAX・メールにて受け付けています。

TEL 06(6460)1621  
FAX 06(6460)1628  
office@kansaikodomo.com

ホームページのご案内はこちらから  
<http://www.kansaikodomo.com/>

 **関西こども文化協会**  
特定非営利活動(NPO)法人

〒553-0006 大阪府大阪市福島区吉野4-29-20大阪NPOプラザ207号  
TEL:06(6460)1621 FAX:06(6460)1628  
office@kansaikodomo.com <http://www.kansaikodomo.com/>

## 財団法人 こども未来財団

〒105-0003 東京都港区西新橋3-3-1 西新橋TSビル8F  
TEL:03(6402)4820 FAX:03(6402)4830  
<http://www.kodomomiraizaidan.or.jp/>

現地協力団体：和歌山県学童保育連絡協議会

取材協力団体：アーティスト・イン・児童館実行委員会、NPO熊取こどもと大人のネットワーク、つくるところ[京阪東ローズタウン共育ステーション]、わが町にしなり子育てネット・にしなりあそびパーク委員会

後援：文部科学省、(社福)全国社会福祉協議会、大阪府、和歌山県、大阪市、堺市、和歌山市、橋本市、(社福)大阪府社会福祉協議会、(社福)和歌山県社会福祉協議会、(社福)大阪市社会福祉協議会、(社福)堺市社会福祉協議会、(社福)和歌山市社会福祉協議会、大阪府教育委員会、和歌山県教育委員会、大阪市教育委員会、堺市教育委員会、和歌山市教育委員会、橋本市教育委員会

※必要事項を下記欄に記入の上、お申し込みください。1団体で複数人申し込みの場合も本用紙をコピーの上、別々に送付してください。

申込書 ————— 子育て支援者向け研修事業<大規模研修会>「子ども」という時間と放課後 **FAX 06 (6460) 1628**

参加者氏名(ふりがな) 所属(ふりがな)団体・法人名等

TEL / FAX E-mail

住所

一時保育申し込み(保育時間 9:45-12:00 / 12:30-16:15 昼食時はお子様とご一緒をお願いいたします) ※後日、詳細案内を送らせていただきます。

子ども氏名(ふりがな) 年齢( 才 ヶ月)

○ご記入いただいた個人情報は、本研修の目的範囲外には使用いたしません。